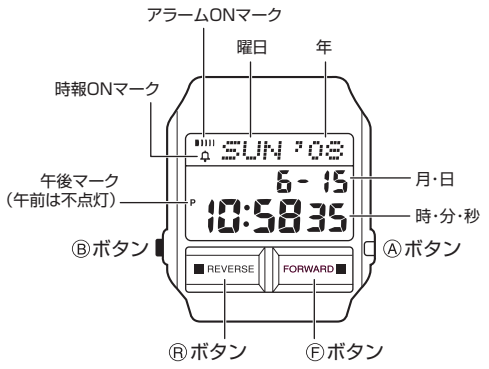
Operation Guide 871

CASIO

操作のしくみと表示の見方

Ⓑボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります(押すごとに確認音が鳴ります)。
※ 詳しくは各機能の項目をご覧ください。
※ 各モードでその機能を使用した後、Ⓑボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

時刻・カレンダーモード



★曜日の見方

SUN	日
MON	月
TUE	火
WED	水
THU	木
FRI	金
SAT	土

★12／24時間制表示切り替え
Ⓡボタンを押すごとに12時間制表示(午前／午後)と24時間制表示(24が点灯)とが切り替わります。

Ⓑ

テレメモモード

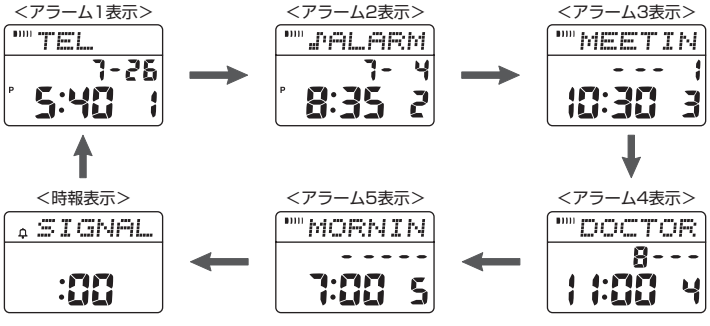


Ⓑ

アラームモード



アラームモードではⒻボタンを押すごとに→の順で表示が切り替わります。
※詳しくはアラーム機能の使い方をご覧ください。



Ⓑ

ストップウオッチモード



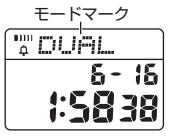
Ⓑ

タイマーモード



Ⓑ

デュアルタイムモード



Ⓑ

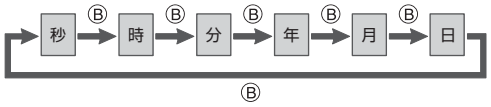
時刻・カレンダーの合わせ方

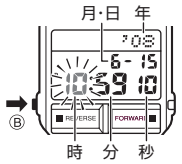
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. 時刻・カレンダーモードのときに、Ⓐボタンを押して時刻セットモードにします。
※ 秒が点滅します。



2. Ⓑボタンを押します。
※ セットモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓑボタンでセットしたい個所を選びます。





※「年」は西暦下2桁で、1985年～2029年までセットできます。
※ 曜日は年・月・日を合わせれば自動的にセットされます。

3. 点滅個所がⒻボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓡボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。

Ⓑボタンでセットしたい個所を選び、Ⓕ・Ⓡボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注)「時」のセットのとき午前(不点灯)／午後(P)、24時間制(24)にご注意ください。



4. セットが終わったら(どの個所が点滅していても)Ⓐボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。
- 時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に時刻・カレンダー表示に戻ります。

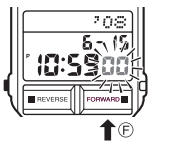
秒の合わせ方・・・30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

1. 時刻・カレンダーモードのときに、Ⓐボタンを押して時刻セットモードにします。
※ 秒が点滅します。



2. 時報に合わせて、Ⓕボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。
* 時報は「時報サービス電話 117番」が便利です。



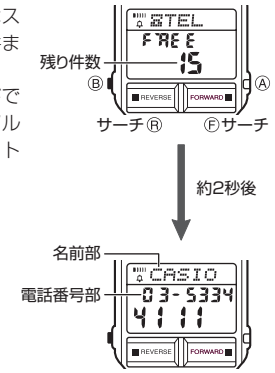
3. Ⓐボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



テレメモの使い方

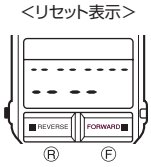
「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓑ ボタンを押し、テレメモモードにします。

テレメモはアルファベット・数字８文字（７文字以上はスクロール表示）、数字12桁までの電話番号などを30件までメモリーできます。
テレメモモードに切り替えた直後は前回テレメモモードでサーチした内容が表示され、Ⓕ ボタンを押すごとにアルファベット順に、Ⓡボタンを押すごとに逆アルファベット順に表示されます。（自動編集機能）
※ Ⓕ・Ⓡ ボタンは押し続けると早送りできます。

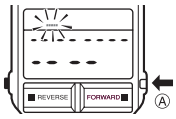


■ セット(修正)のしかた

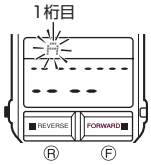
1. テレメモモードでⒻまたはⓇボタンを押してリセット表示または訂正したい内容を表示させます。
※ データが30件分セットされているときは、リセット表示とはならず、“◇FULL”と表示されますので、不要なデータを消去してください（「消去の仕方」参照）。

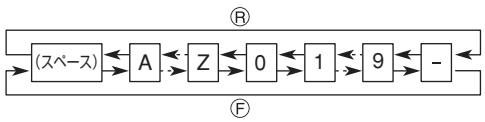


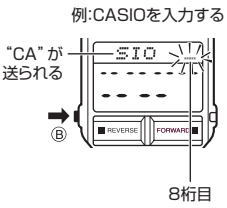
2. Ⓐボタンを押すと名前部１桁目が点滅します。このとき Ⓑ ボタンを押すごとに点滅個所が名前部１桁目から８桁目、電話番号部１桁目から12桁目までを１桁ずつ移動します。点滅個所がセット可能です。



3. ⒻまたはⓇボタンを押してアルファベットおよび番号を表示させます。目的の文字を表示させたらⒷボタンを押して次の桁を点滅させ、Ⓕ または Ⓡ ボタンを押して目的の文字を表示させる操作を繰り返し、名前部をセットまたは修正します。
※ Ⓕ・Ⓡ ボタンは押し続けると早送りができます。
• Ⓕ または Ⓡ ボタンを押すごとに以下の順でアルファベット・数字が切り替わります。



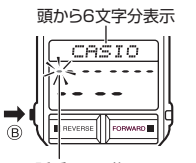


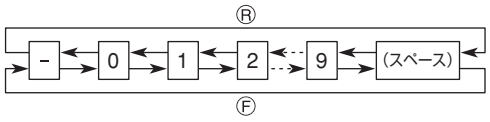


＜名前部入力上の注意＞

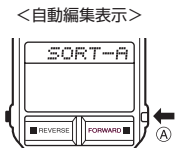
アルファベットのO（オー）を数字の0（ゼロ）で代用するなど、形の似た文字を名前部に使うと、自動編集（並べ替）のときに正しく並び替えられないことがありますのでご注意ください。

名前部の入力が終わったら、Ⓑ ボタンを押して電話番号部を点滅させ、Ⓕ または Ⓡ ボタンで番号をセットまたは修正します。
• Ⓕ または Ⓡ ボタンを押すごとに以下の順で数字が切り替わります。





4. セットが終わったらⒶボタンを押すと“自動編集”が行なわれ、メモリーした番号がアルファベット順に並びかえられセット完了です。
※ 自動編集はアルファベットの８文字を１桁目から比較して行なわれ、順序はスペース、A～Z、0～9、ー、・の順序となります。

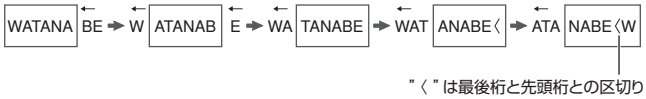


● テレメモのセットで表示を点滅させたままにした場合は、2～3分後、自動的にテレメモモードの表示に戻ります。

●スクロール表示

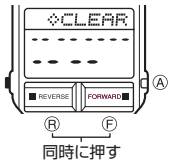
テレメモ機能の名前部の入力文字数は８文字ですが、７文字以上入力した場合は Ⓕ または Ⓡ ボタンでサーチした後、１度に６文字を表示し、約１秒後から表示が右から左に順に送られて（スクロール）表示します。

例）“WATANABE”の場合



■ 消去の仕方

テレメモモードで Ⓕ または Ⓡ ボタンを押して消去したい内容を表示させ、Ⓐ ボタンを押します。このとき（名前部１桁目が点滅）Ⓕ・Ⓡ ボタンを同時に押すと“◇CLEAR”と約２秒間表示され、表示内容が消去されます。消去後はリセット表示となり新たにセットできます。セットしないときは Ⓐ ボタンを押して点滅を止めます。

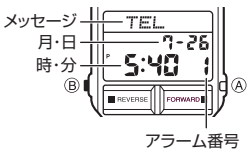


アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓑ ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位で月・日・時・分がセットでき、セットした時刻になると20秒間電子ブザーとメッセージで知らせるアラームが５つあります。月・日・時・分を指定するとその月日のセット時刻に、時・分のみを指定すると毎日セット時刻に鳴ります。
なお、５つのアラームはいずれも同じ使い方です。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

<アラーム1表示>



※ メッセージはアルファベット・数字８文字（７文字以上はスクロール表示）まで入力できます。スクロールについてはテレメモの「スクロール表示」を参照してください。

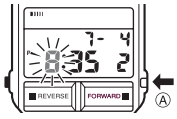
●セットのしかた

1. アラームモードで Ⓕ ボタンを押して合わせたいアラーム番号（１～５）を表示させます。



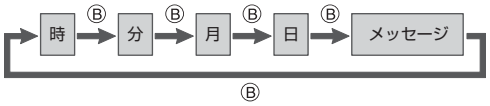
2. Ⓐ ボタンを押すと「時」が点滅します。

※ アラーム ON マーク（▮▮▮）が点灯します。

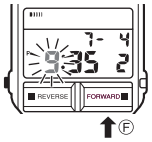


3. Ⓑ ボタンを押すごとに点滅個所が下図の順で移動します。

※ 点滅個所がセット可能ですので、Ⓑ ボタンでセットしたい個所を選びます。



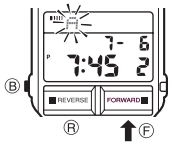
4. 点滅個所が Ⓕ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓡ ボタンを押すごとに１つずつ戻りますので、時・分・月・日をセットします。



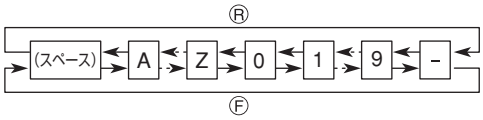
※ Ⓕ・Ⓡ ボタンは押し続けると早送りができます。
※ 月・日を指定しないときは月・日とも“－－”にします。（「月日のセット」参照）

注）「時」のセットのとき午前（不点灯）／午後（P）にご注意ください。
注）基本時刻を24時間制表示にしているときはアラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。

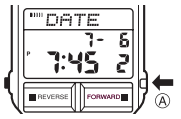
5. メッセージは８文字まで入力でき、Ⓑ ボタンを押すごとに点滅個所が１桁目から８桁目までを１桁ずつ移動します。このとき Ⓕ ボタンまたは Ⓡ ボタンを押すとアルファベットおよび数字が表示されますので、目的の文字を表示させたら Ⓑ ボタンを押して次の桁を点滅させる操作を繰り返しメッセージを入力します。



※ Ⓕ・Ⓡ ボタンは押し続けると早送りができます。
• Ⓕ または Ⓡ ボタンを押すごとに以下の順でアルファベットと数字が切り替わります。



6. セットが終わりましたら、Ⓐ ボタンを押してセット完了です。



● アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、２～３分後自動的に点滅が止まります。

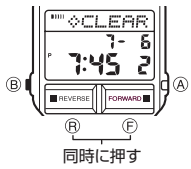
●月日のセット

月日のセット内容により、次のようにアラームの鳴る日がかわります。
月・日・時・分セット → 指定月日の指定時刻に鳴る。
月・時・分のみセット → 指定月の１ヵ月間、毎日指定時刻に鳴る。
日・時・分のみセット → 月１回、指定日の指定時刻に鳴る。
時・分のみセット → 毎日指定時刻に鳴る。

●メッセージの消去

すでに入力したメッセージを消去したいときは、消去したいアラーム番号を（Ⓕ ボタンで）表示させ、Ⓐ ボタンを押し、アラーム時刻セット状態にします。（セット状態のときに）Ⓑ ボタンを押してメッセージの１桁目を表示させ、Ⓕ ボタンと Ⓡ ボタンを同時に押すと（◇CLEAR を表示し）メッセージが消去されますので、新たなメッセージを入力して Ⓐ ボタンを押すか、直接 Ⓐ ボタンを押します。

※月・日・時・分は消去されません。



●アラーム・時報の ON／OFF

各アラーム表示（１～５）、時報表示のとき、Ⓡ ボタンを押すごとに各アラーム表示（１～５）のときはアラーム ON マーク（▮▮▮）が、時報表示のときは時報 ON マーク（🔔）が点灯・不点灯をくり返します。各マークとも点灯しているときが ON で、電子ブザーが鳴ります。

<時報表示>



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるには Ⓑ・Ⓕ・Ⓡ のいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

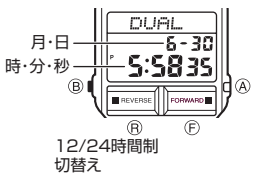
アラームモードで Ⓕ ボタンを１～２秒以上押し続けると、アラーム１～５が表示されているときはアラームの鳴り方で電子ブザーが鳴り、時報が表示されているときは時報の鳴り方で電子ブザーが鳴ります。

デュアルタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓑボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは時刻表示（時刻・カレンダーモード）とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。（秒は時刻表示と連動）

<デュアルタイムモード>



● 12/24 時間制表示の切替え

時刻表示とは別に切り替えができます。デュアルタイムモードのとき Ⓡ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

※ 12 時間制表示のときは午後のみ“P”、24 時間制表示のときは“24”が点灯します。

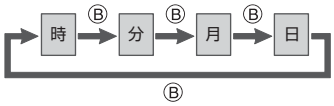
● セットのしかた

1. デュアルタイムモードのとき Ⓐ ボタンを押すと「時」が点滅します。

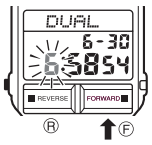


2. Ⓑ ボタンを押すごとに点滅個所が下の順で移動します。

※ 点滅個所がセット可能ですので、Ⓑ ボタンでセットしたい個所を選びます。



3. Ⓕ ボタンを押すごとに点滅個所が 1 つずつ進み、Ⓡ ボタンを押すごとに 1 つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。



4. セットが終わりましたら、Ⓐボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。

● デュアルタイムセットモードで表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。



ストップウオッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」したがって Ⓑボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



★計測のしかた

Ⓕボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。計測中 Ⓡ ボタンを押すと表示は止まりますが内部では計測を続けるスプリット計測となります。（“SPLIT”表示）

Ⓕ・Ⓡ ボタンとも押すと操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓕ（スタート） → Ⓕ（ストップ） → Ⓡ（リセット）

※ 積算計測… ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓕ ボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓕ（スタート） → Ⓡ（スプリット計測） → Ⓡ（スプリット解除） → Ⓕ（ストップ） → Ⓡ（リセット）

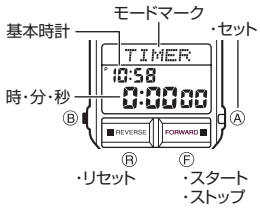
● 1 着・2 着のタイム計測

Ⓕ（スタート） → Ⓡ（1着がゴール（1着タイム表示）） → Ⓕ（2着がゴール） → Ⓡ（2着タイム表示） → Ⓡ（リセット）

タイマーの使い方

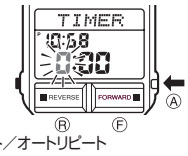
「操作のしくみと表示の見方」にしたがって Ⓑボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは分単位で最大 24 時間までセットでき、セット時間が経過すると 10 秒間電子ブザーが鳴ります。

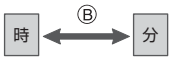


●セットのしかた

1. タイマーモードのときに Ⓐ ボタンを押すと「時」が点滅します。



2. Ⓑ ボタンを押すごとに点滅個所が「時」と「分」を移動します。



3. 点滅個所が Ⓕ ボタンを押すごとに 1 つずつ進みます。

※ Ⓕ ボタンは押し続けると早送りができます。

※ Ⓡ ボタンによる戻しはできません。

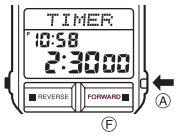


Ⓑ ボタンでセットしたい個所を選び、Ⓕ ボタンで表示をセットするという操作をくりかえし行ない、時・分を合わせてください。

※ 持ち時間を 24 時間にセットするときは表示を“0：00”にします。

4. セットが終わったら、Ⓐボタンを押してセット完了です。Ⓕ ボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を秒単位で表示します。

※ 操作確認音が鳴ります。



●ロスタイムがある場合は

減算計測中、Ⓕ ボタンはスタート／ストップボタンとなり、減算計測をストップさせることができます。

●リピート（繰り返し）計測

タイムアップ後（残り時間0）、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。計測の途中で最初からやり直すときは、Ⓕ ボタンを押して計測ストップ後、Ⓡ ボタンを押します。

● オートリピート機能（自動繰り返し計測）

持ち時間のセットのとき（表示が点滅中）、Ⓡ ボタンを押すごとにオートリピートマーク“R”が点灯・不点灯を繰り返します。オートリピート計測ではタイムアップ後も続けて計測前にセットした時間を繰り返し計測します。



●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるには、Ⓑ・Ⓕ・Ⓡ いずれかのボタンを押します。

● タイマーセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。